

## 土木学会関西支部共同研究グループ ワークショップの開催について（ご案内）

土木学会関西支部共同研究グループ「ローカルエリアにおける地域防災セキュリティシステムの最適なあり方についての研究」では、平成15及び16年度の2年間にわたり、主として大阪府域における各機関の防災情報システムや危機管理システムの現状を調査するとともに、防災情報の共同利用、加工及び発信における課題をとりまとめ、地域防災セキュリティシステムの最適なあり方について検討を重ねてまいりました。

今回、下記のワークショップを開催し、これらの研究成果について報告いたしますので、ご案内させていただきます。多数の皆様方のご参加を、お待ちしております。

### 記

**開催日** : 平成17年5月29日（日） 14時30分～16時30分

**開催会場** : 平成17年度 土木学会関西支部年次学術講演会 WS-1会場  
(大阪工業大学 大宮キャンパス 7号館 4階 743教室  
～大阪市旭区大宮5-16-1  
地下鉄谷町線「千林大宮」駅下車、2番出口より北西へ徒歩約12分)  
※土木学会関西支部ホームページ (<http://www.jscekc.civilnet.or.jp/>)  
の年次学術講演会の項目をご参照下さい。

### プログラム :

14:30～14:35	開会	
14:35～14:40	代表者挨拶	
		神戸大学 都市安全研究センター 教授 沖村 孝
14:40～16:00	研究メンバーによる研究成果の発表及び質疑応答	
16:00～16:25	基調講演	
	(仮題)「防災対策の新しい傾向	
	～阪神淡路大震災から10年間の取り組みの変遷と昨	
	年の台風23号による土砂災害への対応事例から」	
		神戸大学 都市安全研究センター 教授 沖村 孝
16:25～16:30	閉会挨拶	
		南海電気鉄道(株) 鉄道営業本部 副本部長 山部 茂